

応急手当講習効果確認表

氏名	番号	適の項目数	33項目	
			適	否
区分	項目			
心肺蘇生法	安全を確認する。			
	傷病者の反応を確認したか。			
	周囲の人に助けを求めたか。「誰か来てください。」			
	119番通報とAEDを依頼したか。 「119番通報してください。」「AEDを持ってきてください。」 (または誰もいない場合、自分で119番通報したか)			
	呼吸の確認をしたか。(胸や腹部を見て普段どおりの呼吸の有無を判断したか)			
	呼吸の有無の判断を10秒以内で行ったか。			
	ただちに胸骨圧迫を開始したか。			
	正しい位置を圧迫しているか。 成人・小児：胸の真ん中(胸骨の下半分) 乳児：胸の真ん中(両乳頭を結ぶ線の少し足側)			
	毎分100～120回の速いテンポで圧迫したか。			
	約5cm(小児・乳児の場合は胸の厚さの1/3)沈み込むように深く圧迫したか。 成人・小児(体型により片手で実施)は両手で圧迫 乳児は2本指で圧迫			
	圧迫と圧迫の間は胸が元の高さに戻るまで解除したか。			
	気道を確保したか。(頭部後屈あご先挙上法)			
	人工呼吸をしたか。 乳児：人工呼吸の準備ができ次第、人工呼吸を開始したか。			
	人工呼吸を1回1秒かけて2回吹き込んだか。			
心肺蘇生法を30対2のサイクルで行っているか。				
AED到着から解析まで	AED到着後、傷病者の近くに置き、電源を入れたか。			
	年齢に応じて小児用電極パッド又は小児用モードを選択したか。			
	傷病者の胸部を確認したか。(胸部の乾き・ペースメーカー・経皮貼付剤)			
	傷病者が濡れている場合、胸部等をタオルで拭いたか。			
	電極パッド同士が重ならず、適切な位置に貼られているか。			
	傷病者の胸部にペースメーカーを確認した場合、ペースメーカーを避けて電極パッドを貼ったか。			
	傷病者の胸部に経皮貼付剤などを確認したら取り除いて電極パッドを貼ったか。			
解析時は、誰も傷病者に触れないよう「みんな、離れて！」と声を出したか。				
「ショックが必要で す。」のメッセージ	ショック時は、誰も傷病者に触れないよう「みんな、離れて！」と声を出したか。			
	誰も傷病者に触れていないことを確認して、ショックボタンを押したか。			
「ショックは不要で す。」のメッセージ	電気ショック終了後、すぐに胸骨圧迫を再開したか。			
	すぐに胸骨圧迫を再開したか。			
胸骨圧迫の交代	2人以上いる場合、1～2分を目安に胸骨圧迫の役割を交代したか。			
引継ぎ	救急隊が到着するまで、心肺蘇生を続けたか。			
	到着した救急隊に、傷病者の倒れた状況、心肺蘇生法及びAEDによる除細動実施回数等を伝えたか。			
総合判断	実施すべき処置の手順が正確で、処置内容に欠落はなかったか。			
記録紙の評価	人工呼吸実施回数の70%以上が適であること。			
	心臓マッサージ圧迫回数の70%以上が適であること。			
合計				

※ 合格基準：適の項目数が27以上であること。